

社会医療法人社団千葉県勤労者医療協会

船橋二和病院

ふたわ診療所



医師募集概要

理念

患者さまの権利を尊重し、
安全で納得と満足のいく医療・介護を
地域とともにすすめます。

基本方針

- 1.わたしたちは、患者さまの権利を尊重した、差別のない平等の医療・介護をすすめます。
- 2.わたしたちは、安全・安心の医療・介護をすすめます。
- 3.わたしたちは、患者さまの声を受けとめ、満足のいく医療・介護を追求します。
- 4.わたしたちは、総合性と専門性を持った医療を追求します。
- 5.わたしたちは、友の会・地域の人びとと連携をつよめ、安心して住み続けられるまちづくりをすすめます。
- 6.わたしたちは、医療活動の発展・職員の処遇の改善のため、経営基盤の強化の活動をすすめます。
- 7.わたしたちは、職員が大切にされる環境をつくり、医療・介護の専門職の育成をすすめます。





船橋二和病院は1981年（昭和56年）開院。患者さま、地域住民のいのちと健康を守る、24時間安心してかかることができる病院として、二次医療機関・救急医療を担ってきました。

船橋市北部に位置し、北部地域の拠点病院として、予防からリハビリテーションまで一貫した総合的な医療を追求。入院・外来・救急、在宅医療等の診療にあたる中で、第一線医療に力をそそいできました。

病院内外で医療と社会保障について健康友の会、患者会などと協同した活動、出張健診をはじめ保健予防活動を地域の中で積極的にすすめています。2002年4月厚生労働省の臨床研修病院の指定、2006年病院評価機構認証を取得、2011年には無料低額診療事業を開始しました。

内科
 消化器内科
 循環器科
 糖尿病科
 腎臓内科
 透析科
 リハビリテーション科
 外科・小児外科
 整形外科
 麻酔科
 小児科

婦人科,産婦人科
 乳腺外来
 泌尿器科
 産科・分娩
 緩和ケア
 精神科
 救急外来
 眼科
 皮膚科
 耳鼻咽喉科
 病理診断科
 放射線科

船橋二和病院グループは、船橋二和病院(主に救急・入院部門)、船橋二和病院附属ふたわ診療所(主に外来部門)、ふれあいクリニック（主に健診部門）、二和・八木が谷地域包括支援センター、八木が谷在宅介護支援センターで、それぞれ役割分担して連携を取りながら、地域の皆様の健康を守ります。



院長インタビュー

地域のあらゆるニーズに 応えられる病院であり続ける

—— ご入職の経緯について伺います

1987年に千葉大学を卒業後、船橋二和病院での初期研修を経て呼吸器内科を専門としました。6年ほど務めた頃、宮城征四郎先生に憧れていたこともあり沖縄県立中部病院に研修に行かせてもらったのは懐かしい思い出です。

1994年から関連の千葉健生病院の呼吸器内科に務め、2013年、当院に戻って副院長に就任しました。以降は総合診療に携わっています。副院長としての経営管理業務、初期研修プログラムの責任者を担いながら、船橋二和病院総合診療専門研修プログラムも策定しました。院長職には2023年に就任しました。

—— 地域における貴院の位置付けを教えてください

この地域は、千葉県の中では医療の充実している地域です。三次医療機関の船橋市立医療センター、比較的高次の救急に対応する千葉徳洲会病院の他に、当院を含む規模や内容の似通った沢山の医療機関が存在しています。その中で当院の特徴としては「亜急性期や慢性期にも取り組みながら、同時に救急にも力を入れている」ことが挙げられます。



2024年は4月までに月400件の救急受け入れを行っており、年間で5,000件に上る勢いです。地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟では、患者さんが急性期を脱した後、地域に戻って安心した生活が送れるようになるまでをサポートしたり、場合によっては最後までお看取りをさせていただく役割を担っています。

高齢社会において、急性期中心ではどうしても足りない部分がありますから、急性期病院と地域密着型の病院が混在しているような病院となっています。

—— 特徴的な科目はありますか

小児科、産婦人科を有しており、小児科に関しては船橋市内で小児が入院できる病院が当院と船橋市立医療センターだけであることから、昨年は1,200件ほどの小児救急を受け入れました。これは船橋市の小児救急の半分弱を受け入れていることになります。

また、かなり早い時期から設置しているリハビリ科は当院の伝統と言えます。「急性期からリハビリ介入をすれば、寝たきりを作らない」という思想の下、急性期の病棟にもリハビリスタッフを配置して積極的に取り組んでいます。



—— 今後の目指す方向性について教えてください

簡単に言えば、「地域のニーズにしっかり応えられる病院」を目指しています。この地域で発生している子供から高齢者まで、あらゆる世代のさまざまな不調に対して、丸ごと応えていけるような病院であり続けたいですね。

また船橋市の患者層としては、総武線沿線は若い人が多いですが、新京成沿線は高齢化が進んでいて急患の大半はやはり高齢者です。高齢者の急患や診療に皆で応えていこうというのも、ひとつの方向性として掲げています。



—— どのような先生にお越しいただきたいですか

当院の先生は、専門に特化していなくても構いません。これまで積み重ねてきた、地域や高齢者に寄り添った医療を、私が退いた後も引き継いで実践してくれる先生が何名かいてくれたらという思いです。総合診療医の他、コメディカルと上手に関係が作れる先生や患者さんに優しく接することのできる先生、高齢者の診療が得意な先生などに来てほしいと考えています。

今は出来なくても、このような医療に携わりたいという医師も心から歓迎いたします。急性期医療も、患者さんに最後まで寄り添うことも、地域連携の中で退院先の調整をすることも、地域のあらゆるニーズに臨機応変に取り組みたいという先生です。



院長インタビュー2

医師の半数が初期研修から継続して在籍。 働きやすい環境が魅力

—— 現在、働いている先生方にはどのような先生が多いですか

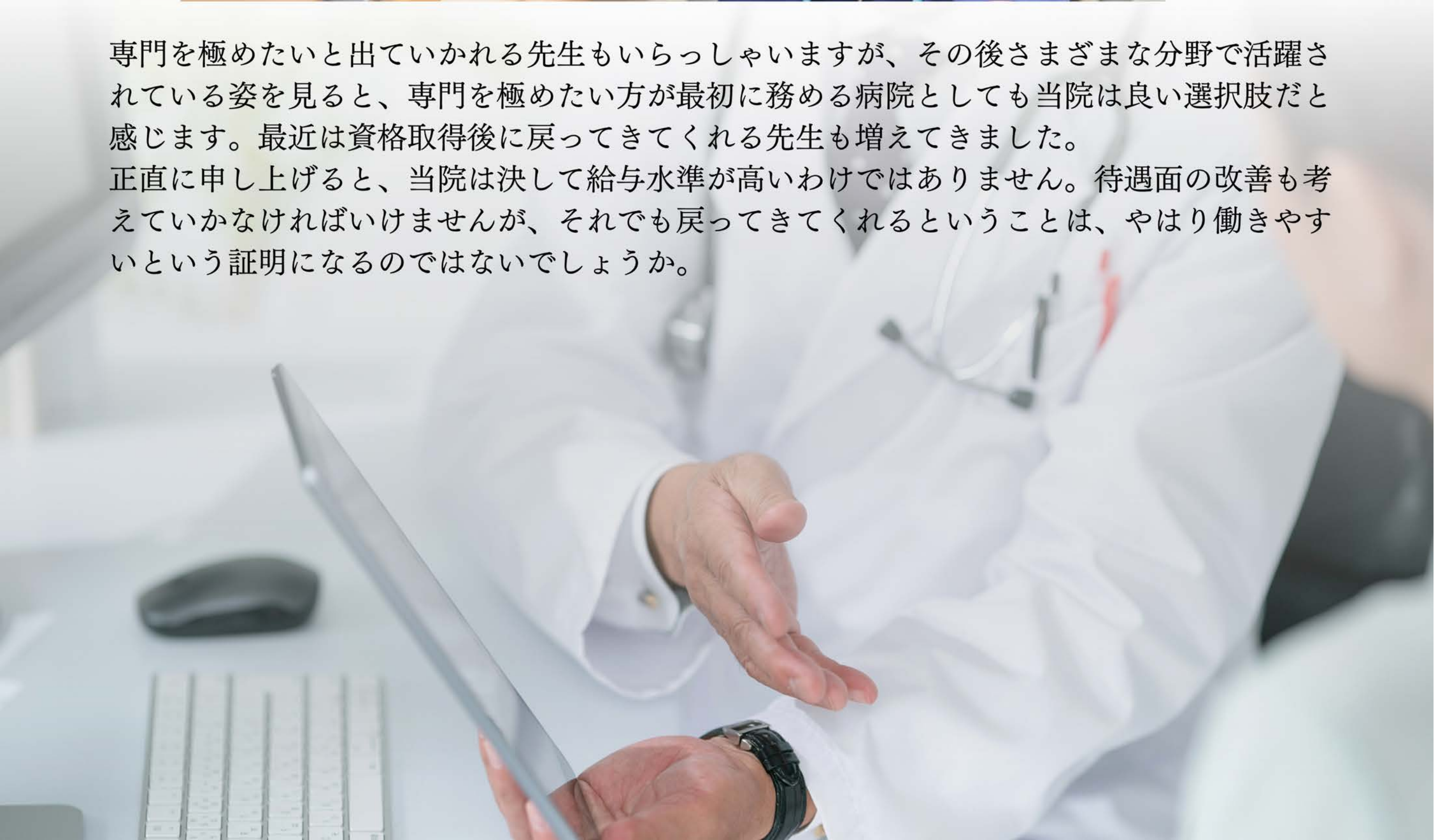
私だけでなく、当院の医師の約半数が初期研修からずっと当院で働き続けています。
ですから、同じように地域の中で総合的に患者さんを診たいとか、専門を極めるよりも幅広く診たいという考えを持っている先生が多いですね。

—— 研修医から居続ける先生が多いということは、大変働きやすい環境なのですね

女性医師の比率が約4割なのですが、昔から院内保育所を作るなどのサポートを行っています。産休育休を取る時も「頑張って行っておいで」と皆が言ってくれるような、そんな雰囲気が当院にはありますね。もちろん医師が居続ける一番の理由は、地域医療に尽くしたいという志にあると思いますが、こうした環境も働き続けたいと思ってもらうには重要な要素です。



専門を極めたいと出ていかれる先生もいらっしゃいますが、その後さまざまな分野で活躍されている姿を見ると、専門を極めたい方が最初に務める病院としても当院は良い選択肢だと感じます。最近では資格取得後に戻ってきてくれる先生も増えてきました。
正直に申し上げると、当院は決して給与水準が高いわけではありません。待遇面の改善も考えていかなければいけませんが、それでも戻ってきてくれるということは、やはり働きやすいという証明になるのではないのでしょうか。



——若い先生方にはどのような指導をされていらっしゃるのでしょうか

若い先生方には「まず診る、援助する、何とかする」と、そういう声掛けをしています。この「何とかする」が曲者で、何とかできる医師になるためには、何とかできるか分からない患者さんを受けて、皆で何とかしたという経験を積む必要があります。私たち指導医の役割は、何とかしようともがいている若い先生方に対して「指導医が何とかできるから、安心して受け入れていいよ」と支えることです。皆、総合的な見方ができますから、何とかする能力が高いのですね。さらに当院の指導医たちは社会的困難例、つまりお金がないとか、家族がいない、コミュニケーション能力に問題があるというような人の問題にも対応できる力を持っているわけです。

たとえば認知症の奥様を長年、介護されてきたご主人ががんになってしまったケースでは、入院するにあたって「妻の面倒を見てくれる人がいない」と非常にお困りでした。当院では、こうした対応は難しいことはありません。ケアマネージャーさんに施設にショートステイを頼めるかを聞いてもらって、頼めなければ地域包括ケア病棟で社会的入院を受けることができます。最終的に、ご主人は外科病棟に、奥様は地域包括ケア病棟に入院することになりました。病院全体として地域の困りごとに対応できるので、指導医の姿を見ながら幅広いスキルを学ぶことができます。

——最後に先生方へのメッセージをお願いします

当院はコメディカルが大変患者さんのことを思って、一生懸命、頑張っている病院です。もちろん医師も力を発揮していますが、医師だけでなく皆で協力して患者さんのニーズや困りごとに応えることを病院全体として体現しようとしています。

ですから、若手の先生だけでなく、年齢が上がって少し体力が落ちてきたなと感じていらっしゃる先生も、スタッフと共に頑張ってくれる気持ちがあれば、十分に当院でご活躍頂けます。ぜひ、声を掛けていただきたいと思います。



船橋二和病院
院長 宮原 重佳



募集要項

救急から在宅まで、一貫した地域に根差した
全人的医療を提供しています。

医師、コメディカルがみんなで協力して患者さんのことを一生懸命に考え、患者さんたちのニーズ、患者さんたちの「困った」に答えようとして、それを体現しよう実践している病院です！
スタッフと一緒に頑張ってくれる先生であれば、年齢はご高齢の先生でも検討可能です！

求人条件(全科共通)

就業場所	： 船橋二和病院・ふたわ診療所
募集科目	： 療養病棟専従医、産婦人科、外科、リハビリテーション科、内科・総合診療科
勤務曜日	： 月～土曜日のうち週4日～5.25日の間で相談 ★週4可！
勤務時間	： 平日：08:45～16:55、土曜：08:45～12:20（午前のみ）※休憩60分
勤務内容	： 各科参照
休日	： 土曜午後、日曜、祝日、労働祭(5/1)
休暇	： 夏季休暇(4日)、年末年始休暇(6日)、産休(あり)、育休(あり) 有給休暇(法定に準ずる)
当直	： 月0～4回※なし可！
オンコール	： 各科参照
交通費	： 実費支給

福利厚生・支援制度（全科共通）

契約期間	： 期間の定めあり
定年制度	： あり(65歳)
昇給制度	： あり
賞与制度	： あり
各種保険	： 雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金、医師賠償保険
学会参加	： あり(年2回まで出張費を支給)
赴任手当	： なし
住宅補助	： あり(世帯主：～13,500円/月)
時間外手当	： あり
交通費支給	： あり(院内規定により実費支給)
退職金制度	： あり(勤続3年以上)
育児支援	： なし
大学医局	： なし
その他	： 退職金・昇給はありませんが、嘱託契約での契約も可！ (嘱託についての詳細は個別にお問合せください)

内科系 ＜常勤＞

- 募集科目** : 内科系 他相談の上 ＊療養病棟専従医
- 募集背景** : 医師体制強化の為。療養病床47床のうち、稼働は現在36床程度。
常勤2名体制にして満床に持って行きたい。
- 勤務日数** : 週4～5日(平日のみ可)
- 勤務内容** : 療養病棟管理
- 給与条件** : 1,000～1,200万円(給与条件は相談可！)
- その他** : 当直・オンコール・時間外なし！

産婦人科 ＜常勤＞ ＊働き方相談可

- 募集科目** : 産婦人科
- 募集背景** : 来春1名(副院長)退職の為
常勤医4名(副院長60代後半1、40代半2、30代前半1)
※上記のうち1名は週3.75日/月イチ当直/オンコール待機週イチの先生
もいらっしゃいます。こういう働き方も相談可能です！
- 勤務日数** : 週4～5.25日
- 給与条件** : 1,000～1,500万円(当直・オンコール手当含まず)
- 勤務内容** : 外来(週2～3コマ/1コマ30名くらい)
病棟(産婦人科管轄20床くらいを常勤医で分担)
分娩(月20件程度) 2023年1月～12月までの分娩数 205件
手術(オペ日水曜メイン+火or金/悪性腫瘍も含めて年間200例くらい)
- 当直** : 週1回程度(なし応相談)
- オンコール** : 週1回程度(なし応相談)
- その他** : できれば常勤で入って頂ける先生が一番望ましいですが、
常勤以外での週3.75日のような働き方は色々相談可能です！
分娩対応、オペできる先生歓迎

募集要項 2

リハビリテーション科 <常勤>

- 募集科目 : リハビリテーション科
- 募集背景 : 欠員補充、現在50代半リハ専門医・指導医の先生1名体制になっているのでもとの2名体制に戻したい。
- 勤務日数 : 週4～5.25日
- 勤務内容 : 外来(週2コマくらい/1コマ10～20名程度)
病棟(31床のうち稼働28～29床程度)
そのほか(嚥下の検査等)
- 給与条件 : 給与条件：1,000～1,400万円(当直・オンコール手当含まず)
- 当直 : なし
- オンコール : なし
- その他 : 嚥下の検査も実施し、急性期リハを積極的に行っています。
OT10名程度、PT5～6名程度、PT20～30名程度
外来ではリハ前問診のほかリハ処方等も行っています。

外科 <常勤>

- 募集科目 : 外科
- 募集背景 : 2025年1月に1名定年→非常勤となるため
- 勤務日数 : 週4～5.25日
- 勤務内容 : 外来(週2コマくらい/1コマ30名程度)
病棟(15～20床を3人で今診ている→4人体制)
手術(オペ日木曜+金曜たまに/年間500例程度)
救急(週1コマ程度)
- 給与条件 : 1,000～1,500万円
- 当直 : 週1回程度(なし応相談)
- オンコール : 月2～3回程度(なし応相談)
- その他 : ほぼ実際呼ばれることは無いが入院の緊急内視鏡待機当番
は外科で内視鏡ができる先生と消化器内科の先生で回しています。



内科・総合診療科 ＜常勤＞

- 募集科目：内科・総合診療科
- 募集背景：内科ニーズが高く医師体制強化の為増員募集
- 勤務日数：週4～5.25日
- 勤務内容：外来(週2コマくらい/1コマ20名程度)
病棟(1人あたり10～20名程度/主治医制)
救急(週1コマ程度)
- 給与条件：800～1,400万円
- 当直：月0～4回(なし応相談)
- オンコール：なし
- その他：今回、内科・総合診療の募集背景として非常勤Dr.の割合が非常に多くなってきている為、常勤医の募集をしています。
できれば常勤医が欲しいですが、先生方の事情により
当直なし・オンコールなし・週4以下の相談も可能です！

一般内科 ＜非常勤募集＞

- 開始時期：2024年9月以降、随時
- 募集科目：一般内科
- 業務内容：訪問診療
- 勤務時間：終日：9:00-17:00、午前：9:00-12:00、午後14:00-17:00
※終日、半日単位でも可
- 勤務曜日：①10月～水曜(午後) 14:00-17:00
②月曜、火曜・水曜・木曜・金曜(午後は不可)
- 給与条件：1日80,000円、半日：40,000円
- 交通費：別途支給 ※車通勤可
- カルテ：処方オーダと検査オーダ等は電子カルテ。
記録は紙カルテです。
- その他：★毎週勤務必須、週1コマより

- 終日勤務時休憩：60分
- 休日：祝日勤務無し
- 資格：特に必要ありません。
- スキル：必須手技等はありませんが、在宅酸素の管理、気切胃ろうの交換、尿バルーン交換、気管切開交換、褥瘡のデブリードマン、糖尿病のインスリン単位管理があります。
- 対応数：①施設1カ所9件、居宅2件
②居宅5-8件(1コマ)
- 体制：看護師・ドライバー同行有り
- その他：年齢・性別制限：性別不問、50代まで
- 交通費：実費支給（上限5,000円） ※お車通勤可

地域について

千葉で住みたい街No.1 取得の住みやすい街

人口64万人を超える市民が暮らす船橋市は、千葉県の北西部に位置し、東京から20キロメートル圏内に位置しています。駅前をはじめ商業施設は充実しており、必要なものは揃いますし市内には緑豊かな公園が多く、家族で過ごす休日には最適な場所がたくさんあります。都心へのアクセスの良さと駅前の商業施設や公園など住環境の充実が多くのファミリー層に支持される大きな理由です。船橋市非公認キャラクター「ふなっしー」も有名です。

都心へのアクセス抜群のベッドタウン

都心へのアクセスがよく船橋市内には9路線35駅もの鉄道網があります。JR総武線の船橋駅からは東京駅まで、東京メトロ東西線の西船橋駅から東京の大手町まで、それぞれわずか24分です。



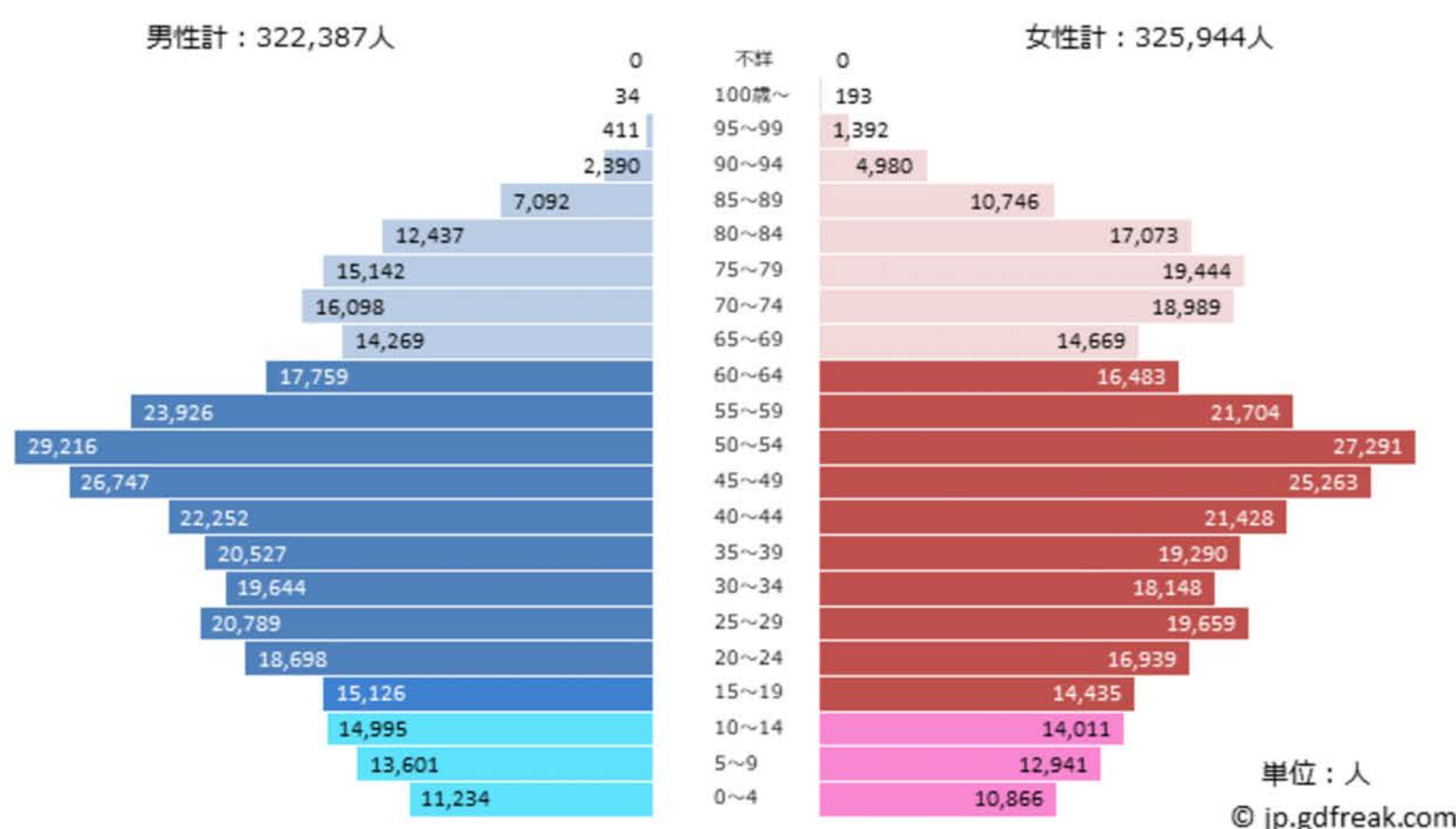
船橋駅前



船橋市の人口分布

船橋市の総人口は64.8万人のうち、65歳以上の高齢者は24.0%をしめており人口の4.2人に1人が65歳以上という状況になっています。一方で、出産や子育ての中心となる若い女性（20歳～39歳）の人口分布は総人口の11.5%で、全国平均（10.3%）より高い割合となっています。日本全体の課題と同じく船橋市自体も高齢化の問題は抱えていますが、若い世帯が他の地域より多い点は街の発展性に今後も期待されるエリアでしょう。

船橋市の2024年1月1日の人口構成（住民基本台帳ベース,総人口）



子育て支援の厚い街

ファミリー層に人気の船橋市ですが、市をあげて子育て支援を行っています。

子どもの医療費助成ですが、具体的には通院1回につき300円、入院1日につき300円で医療を受けることが可能です。調剤薬局については無料で利用できます。

船橋市が管理している児童ホームや育児サークルもあり無料の交流機会は子育て世帯から高評価を得ています。さらに、保健師や歯科衛生士などが職員として在籍しており、身体測定や育児相談も行うなど、市が積極的に子育て世帯の支援を手厚く行っていることが伺えます。



概要・アクセス

施設概要

- 施設名：社会医療法人社団 千葉県勤労者医療協会 船橋二和病院・ふたわ診療所
- 住所：〒274-0805 千葉県船橋市二和東5-1-1
- 病院長：宮原 重佳
- 病床数：299床
- 救急指定：2次救急
- 施設種別：病院・診療所
- 標榜科目：内科, 精神科, 呼吸器科, 消化器科, 循環器科, 小児科, 外科, 整形外科, 小児外科, 皮膚科, 泌尿器科, こう門科, 産婦人科, 眼科, 耳鼻いんこう科, リハビリテーション科, 放射線科, 病理診断科, 乳腺外科, 麻酔科
- 各種認定等：保険医療機関
救急病院等の認定及び告示
財団法人日本病院機能評価機構認定病院
厚生労働省指定臨床研修病院
船橋市二次救急ネットワーク病院
船橋市小児二次救急病院
NPO法人卒後臨床研修評価機構（JCEP）4年認定

アクセス

新京成線「二和向台駅」を下車、徒歩6分。駅からの巡回バスあり



施設認定一覧

厚生労働省指定基幹型臨床研修病院

日本内科学会認定制度教育病院

日本リハビリテーション医学会研修施設

日本外科学会専門医制度修練施設（指定施設）

日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設（連携型専攻医指導施設）

日本小児科学会小児科専門医研修施設

日本病理学会病理専門医研修認定施設 B

日本麻酔科認定病院

日本循環器学会循環器専門医研修施設

日本腎臓学会研修施設

日本腎臓学会認定教育施設

日本透析医学会教育関連施設

日本静脈経腸栄養学会認定NST(栄養サポートチーム)稼働施設

母性保護法指定研修医療機関

専門研修 プログラム基幹施設（内科、総合診療）

専門研修 プログラム連携施設（外科、小児科、産婦人科、リハ科、麻酔科、病理科）

指定を受けている公費負担医療制度など

- ・生活保護法指定
- ・労働者災害補償法指定
- ・結核医療
- ・結核入院医療
- ・戦場病者療養給付
- ・戦場病者更生医療
- ・自立支援医療(更生医療)
- ・原爆一般医療
- ・養育医療
- ・中国残留邦人等の医療支援
- ・肝炎治療特別促進に係わる医療
- ・特定疾患など
- ・小児慢性特定疾患
- ・公害医療

後期研修医 募集中！

◎後期研修（新専門医制度）

基幹プログラム：内科、総合診療

◎トランジショナル・イヤー（TY）研修

初期研修修了後に専門とする領域を決めず、さらに深めたい領域や総合的な力量を身につけることを目的とした研修。初期研修2年間では専門科を決めきれない研修医も少なくありません。

3年目に専門研修に進まず、「将来の専門分野で役に立つ他の診療科の研修を行いたい。」「救急や総合診療のスキルをしっかりと身に付けてから、専門科の道に進みたい。」等の研修医の希望に添った個別のプログラムで研修を行うことができます。

随時、相談見学を受け入れております。お気軽にお問合せください。

社会医療法人社団千葉県勤労者医療協会
船橋二和病院

株式会社RAKUSAI

江上・近藤

E-MAIL：RPO@RAKUSAI-CORP.JP

MOBILE：080-4297-3401(江上)

当院ホームページはこちら



<https://www.futawa-hp.jp/about/index.html>